

## 第2章 川俣町の現況と課題

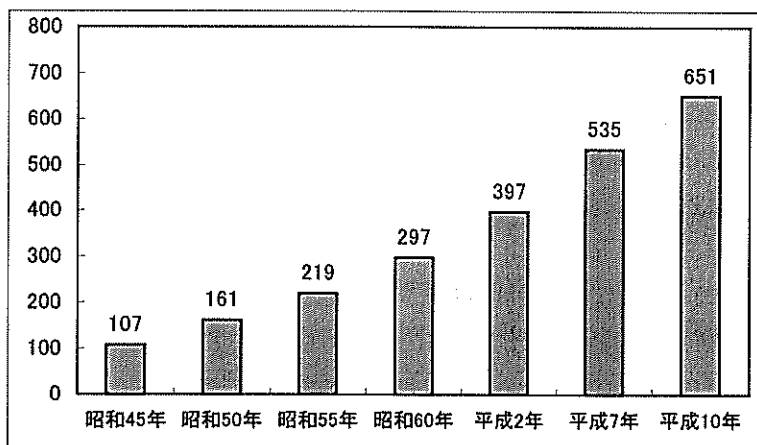
### 1. 障害者・高齢者等の現況

#### (1) 身体障害者の現況

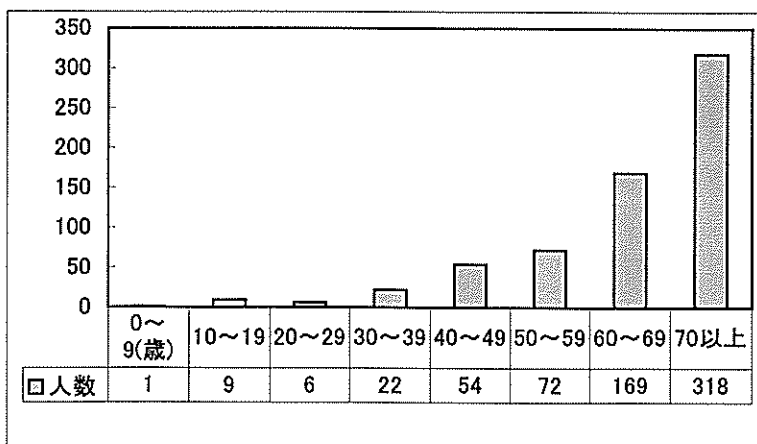
川俣町の身体障害者数(身体障害者手帳交付数)は、平成10年11月現在で651人となっています。これは平成10年の総人口18,696人(基本台帳)の約3.5%を占めており、町民の約30人に1人が何らかの身体障害があるということになります。

身体障害者数の推移をみると、昭和45年から平成10年までの28年間に約6.5倍に増加しています。昭和60年までの5年毎の増加数は50人強だったのに対し、平成2年以降、5年毎の増加数は100人を超え、平成7年からの平成10年までの3年間をみても既に116人の増加がみられます。

平成10年9月現在の身体障害者数を年齢別にみると、60歳から69歳までの方が169人、70歳以上の方が318人と多くなっています。60歳以上全体でみると487人となり、これは身体障害者数全体(651人)の74.8%になります。特に身体障害者全体の70歳以上の占める割合は48.8%であり、約半数が70歳以上ということがわかります。これは急速に進んでいる高齢化と加齢に伴う障害の発生等によるものと考えられます。



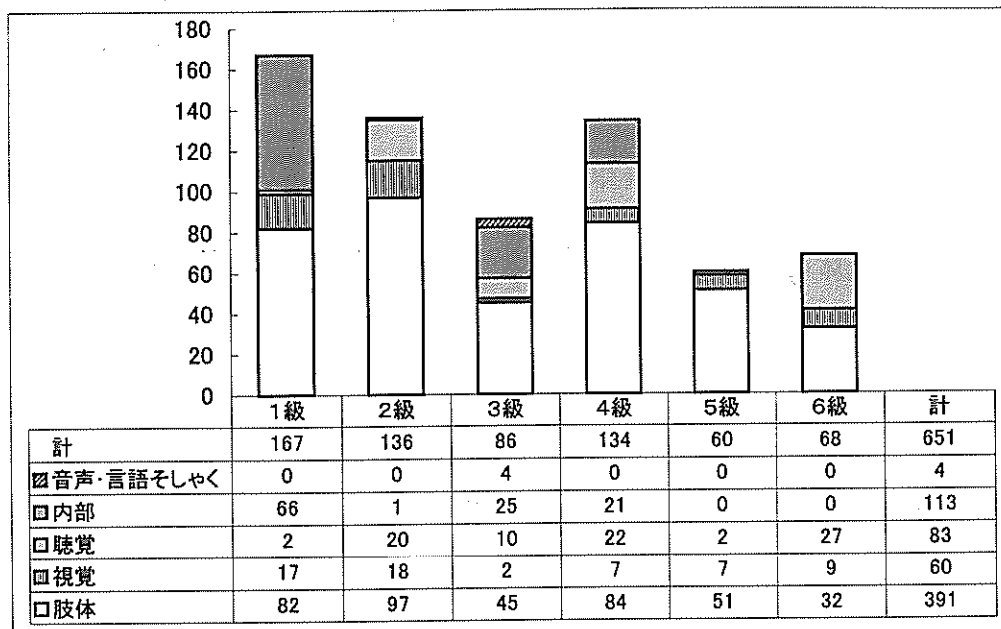
身体障害者数の推移(平成10年11月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]



年齢別にみた身体障害者数(平成10年9月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]

障害の程度等級別に障害者の状況をみると、最も重い1級障害者が167人であり、全体の25.7%を占めており、最も多くなっています。また1級、2級の障害者数は303人で、全体の46.5%を占めており、約半数の方が重度障害ということになります。

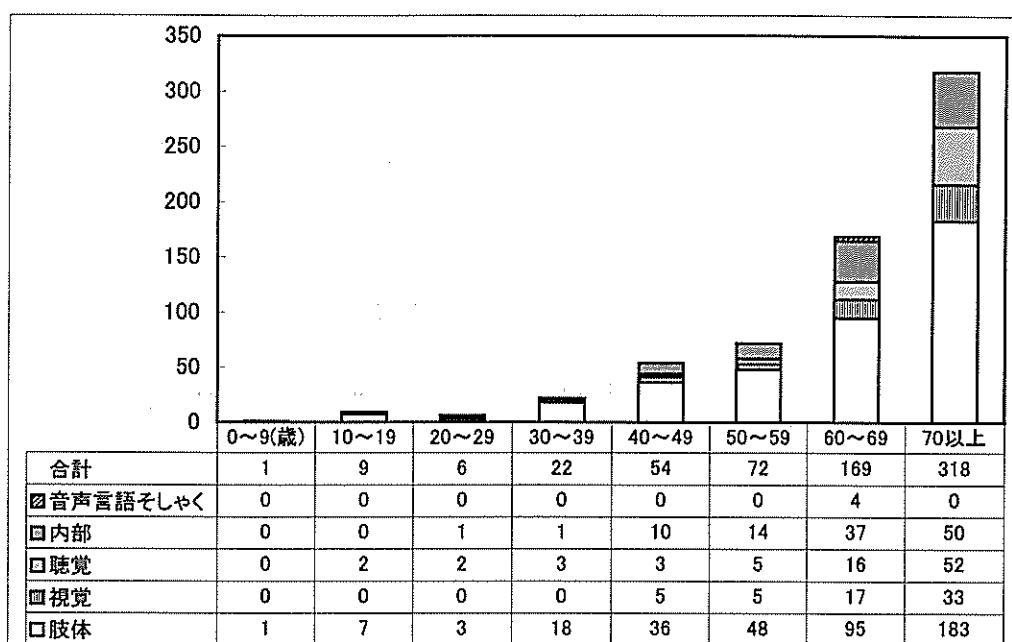
障害の種類別にみると、肢体不自由者が391人と最も多く、全体の60.1%を占めており、次いで内部障害の113人(17.4%)、聴覚障害の83人(12.7%)、視覚障害の60人(9.2%)となっています。



障害の程度等級別にみた障害者の状況(平成10年9月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]

※重複障害者については程度の重い障害に分類されています

年齢別に障害の種類をみると、60歳～69歳までの169人のうち95人(56.2%)、70歳以上の318人中183人(57.5%)が肢体不自由であり、高齢障害者の半数以上を占めています。また60歳以上の場合、聴覚障害、視覚障害の占める割合も高く、高齢化の進行につれてさらに人数が増えることが予想されます。



年齢別にみた障害の種類別障害者の状況(平成10年9月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]  
※重複障害者については程度の重い障害に分類されています

町内の身体障害者施設入所状況をみると5人が町外施設へ入所し、1人が入所待ちの状況です。

施設分類	施設名	入所者数	待機者数
重度身体障害者更生援護施設	福島県ひばり寮	1	1
内部障害者更生施設	東京都清瀬園	1	
身体障害者療護施設	福島県きびたき寮	1	
	けやきの村静心園	1	
国立身体障害者リハビリテーションセンター		1	
計		5	1

身体障害者施設入所状況 (平成10年11月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]

## (2) 知的障害者の現況

下表の療育手帳交付状況から町内の知的障害者の状況をみると、町民の約0.5%にあたる110人前後の方に療育手帳が交付されています。このうちAの重度障害は約半数を占め、Bの重度以外の障害者とほぼ同数となります。

		平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年
児 童	A(重度)	6	7	7	7	7
	B(それ以外)	12	9	9	10	9
他	A(重度)	44	45	47	44	49
	B(それ以外)	38	43	39	4	46
A(重度)合計		50	52	54	51	56
B(それ以外)合計		50	52	48	54	55
A B合計		100	104	102	105	111
(%)		0.51%	0.54%	0.54%	0.56%	0.59%
川俣町人口		19,472	19,316	19,043	18,788	18,696

町内の療育手帳交付状況の推移 単位:人 [出典:川俣町福祉のあらまし]

知的障害者の施設入所状況は下表のようになっており、現在17人が施設に入所し、9人が入所待ちの状況です。

施設分類	施設名	入所者数	待機者数
知的障害者更生施設	福島県けやき荘	1	
	あだたら育成園	2	
	福島県かえで荘	1	
	大萱荘	5	
	石川更生園	1	
	ゆきわり荘	1	
	光洋愛成園	2	
	福島市清心荘	2	
	東洋学園成人部	1	
	だての郷(通所)	1	
	待機者数		7
知的障害者授産施設		待機者数	2
計		17	9

知的障害者施設入所状況 (平成10年11月現在) 単位:人 [出典:町民福祉課]

町内には2箇所の障害者小規模作業所があり、障害者の社会参加及び社会復帰、自立更生の機会を促進するため、約30名(両施設の定員合計)が通所しています。

また、町内では川俣小学校と川俣南小学校、川俣中学校にそれぞれ受け入れクラスがあり、現在8名の児童・生徒が学んでいます。

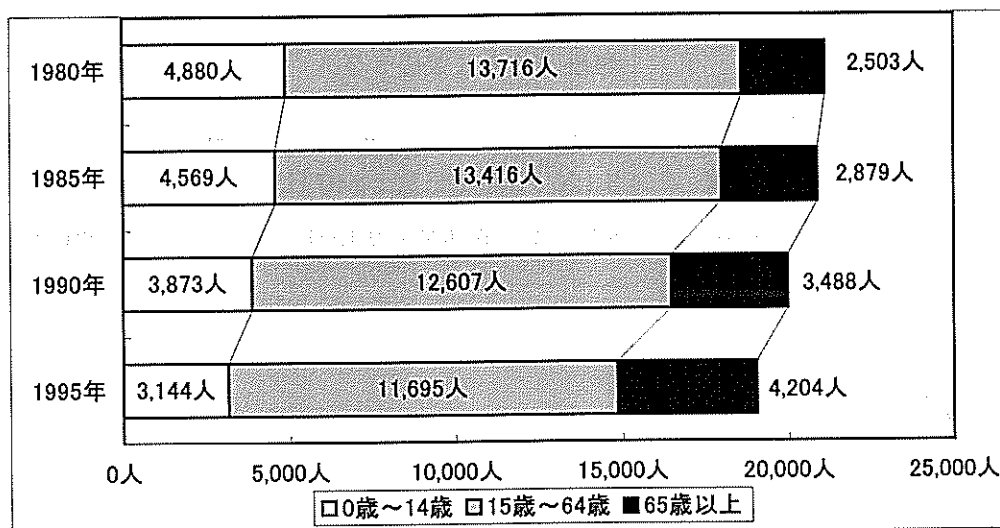
施設名称	川俣町小規模通所授産所「めぐみ」	川俣町かえで授産所
設置主体	川俣町手をつなぐ親の会	川俣町身体障害者福祉会
利用定員	15人	20人
利用人員 (H. 10. 4現在)	知的障害者 13人 身体障害者 0人	知的障害者 11人 身体障害者 7人
指導員数	専任：4人、兼任：3人	専任：3人、兼任：2人
開所日数	月平均：20日	月平均：21日
年間延利用者数	3,120人(開所日数：240日)	3,855人(開所日数：257日)

障害者小規模作業所の状況(平成10年4月現在)【出典：障害者小規模作業所運営事業実施計画書】

### (3) 高齢者の現況

1980年からの川俣町年齢階層別人口をみると、1980年には21,099人だった総人口は1995年には18,696人となり2,403人減少しました。これに対し、65歳以上の高齢者数は1980年には2,503人でしたが、15年後の1995年には4,204人となり1,701人の増加がみられました。これは高齢者数が約1.6倍に増加したことになります。

また、1980年には2,503人だった川俣町の高齢者数は現在4,506人であり、総人口に占める割合(高齢化率)も1980年の11.9%から1995年には24.1%に増加し、急速に高齢化が進んでいることがわかります。これは全国水準14.5%(95年国勢調査)、福島県水準17.4%(95年国勢調査)を大きく上回っており、町民の4人に1人が65歳以上の高齢者であることを示しています。



川俣町年齢階層別人口の推移 [出典:国勢調査]

65歳以上の高齢者のうち要介護高齢者である寝たきり高齢者は121人(2.7%)、痴呆性高齢者は11人(0.2%)となっています。

また、一人暮らし高齢者数は177人、これを含む65歳以上夫婦及び老人世帯は361世帯であり、今後も増加することが予想され、これらの方々への対応が求められています。

総人口	18,696人		
65歳以上人口(a)	4,506人	高齢化率	24.1%
寝たきり高齢者(b)	121人	(b) / (a)	2.7%
一人暮らし高齢者(c)	177人	(c) / (a)	3.9%
痴呆性高齢者(d)	11人	(d) / (a)	0.2%
65歳以上夫婦及び老人世帯	361世帯	(H9. 7. 15現在)	

(平成10年10月現在) [出典:住民基本台帳]

現在、川俣町内の高齢者が養護老人ホーム、特別養護老人ホームに入所している状況は下表のとおりです。

施設入所者82人のうち、町内にある「川俣光風園」に入所しているのは16人で19.5%となっています。特別養護老人ホームへの入所者数を平成5年時と現在を比較すると、5年間で2倍以上の58人になり、30人増加しました。また、現在待機者は5人ですが今後増加することが予想されます。

川俣町では「ふれあい福祉ゾーン」の整備が進行中であり、平成12年を目処に特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイケアセンターB型、同E型が建設され、町内での受け入れが可能となります。同時に済生会川俣病院が移転されることから、福祉・医療環境も充実することが期待されています。

施設名	所在地	平成5年	平成10年11月現在	
		入所者数 ( )内待機者数	入所者数	待機者数
福島恵風園	福島市	3人	4人	
川俣光風園	川俣町	16人	16人	
桑折緑風園	桑折町	2人	2人	
緑光園	福島市	2人	2人	
養護老人ホーム 計		23人(3人)	24人	0人

養護老人ホーム入所状況【出典：町民福祉課】

施設名	所在地	平成5年	平成10年11月現在	
		入所者数 ( )内待機者数	入所者数	待機者数
飯坂ホーム	福島市	1人	6人	
陽光園	福島市	4人	2人	
愛日荘園	福島市	3人	1人	
伊達すりかみ荘	伊達町	7人	8人	1人
羽山荘	東和町	5人	8人	
星ヶ丘ホーム	郡山市	2人	2人	
さわやかアイリス	福島市	2人	6人	
ロング・ライフ	福島市	2人	6人	1人
あづまの郷	福島市		1人	1人
あだたら荘	二本松市		1人	
梁川ホーム	梁川町		13人	1人
ハッピー愛ランド	福島市		4人	
聖輝きの郷	福島市			1人
ひまわり苑	福島市			
あつかし荘	桑折町	2人		
特別養護老人ホーム 計		28人(13人)	58人	5人

特別養護老人ホーム入所状況【出典：町民福祉課】

#### (4) 妊婦の現況

過去5年間の母子手帳交付状況は下表のとおりです。毎年、川俣町人口の約1%弱の人が妊婦であることがわかります。

	川俣町人口 (住民基本台帳)	手帳交付状況
平成5年交付(人) 人口構成比(%)	19,472	191 0.98%
平成6年交付(人) 人口構成比(%)	19,316	184 0.95%
平成7年交付(人) 人口構成比(%)	19,043	158 0.82%
平成8年交付(人) 人口構成比(%)	18,788	133 0.71%
平成9年交付(人) 人口構成比(%)	18,696	140 0.75%

母子手帳交付状況 [出典：町民福祉課]



## 2. 障害者・高齢者等対策の現況

川俣町では障害者や高齢者等に対し下表のような事業を実施し、生活支援等を行っています。しかし制度によっては、町民が内容を知らずに利用していなかったといった制度もあり、今後の広報・普及活動に課題を残しています。

対象者	制度名	制度内容
心身障害者	川俣町ヘルプサービス事業	ホームヘルパーを派遣し日常生活の世話をを行う
	川俣町重度心身障害者医療費補助事業	重度心身障害者に対し、医療費の一部を給付
	川俣町在宅重度身体障害者短期入所事業	介護者が疾病等により在宅介護が出来ない場合、重度身体障害者を一時的に施設に保護する
	川俣町重度心身障害者日常用具給付等事業	在宅重度身体障害者に対し浴槽等の日常生活用具を給付又は貸与
	川俣町更生訓練費支給	身体障害者更生援護施設に入所している者に更生訓練費を支給
	川俣町施設入所者就職支度金	身体障害者更生援護施設に入所・通所している者で訓練を終了し就職等により自立する者に対し、就職支度金を支給
	川俣町在宅重度障害者対策事業	在宅重度障害者に対し、治療材料等を給付
	川俣町在宅重度身体障害者訪問審査	医師等を派遣し、身障者福祉法18条に基づく審査及び更生相談を行う
	川俣町身体障害者自動車操作訓練費補助金交付	自動車運転免許証を取得した身体障害者に対し、予算の範囲内で補助金を交付
	川俣町身体障害者自動車改造費補助金交付	自動車を取得し改造した身体障害者に対し、予算の範囲内で補助金を交付
	川俣町進行性筋萎縮症者療養等給付事業	進行性筋萎縮症に罹患している身体障害者に対し、療養にあわせて必要な訓練等を行う
	川俣町人工透析患者通院交通費補助事業	肝臓機能障害者が人工透析のため医療機関へ通院するのに要する交通費を補助
高齢者	川俣町定住化促進総合対策	高齢者対策
	川俣町戸籍の無料証明	年金受領等に関する戸籍証明が無料
	川俣町敬老祝金給付	満85歳以上、居住年数1年以上の者に祝金支給
	川俣町高齢者在宅福祉診断書料等助成	在宅福祉利用者及び希望者の診断書料等の一部助成
	川俣町在宅高齢者等日常生活支援事業	訪問入浴サービス
	川俣町老人日常生活用具給付等事業	長期にわたり臥床している老人、一人暮らし高齢者に対し特殊寝台等日常生活用具を給付又は貸与
	川俣町寝具丸洗乾燥消毒サービス事業	寝たきり・一人暮らし高齢者の寝具類を丸洗乾燥消毒
	川俣町老人短期入所(ショートステイ)運営事業	介護者に代わって寝たきり高齢者等を一時的に特別養護老人ホーム等で養護
	川俣町老人健康管理事業	町長の承認を得て宿泊による施設利用を行った場合、定額補助
乳幼児	川俣町定住化促進総合対策	育児環境対策
	川俣町児童手当	
	川俣町児童福祉施設入所に要する費用	
	川俣町乳幼児医療費助成	4歳未満乳幼児の医療費の一部を助成
	川俣町母子家庭医療費の助成	

障害者、高齢者、妊婦、乳幼児に係る各種制度〔出典：川俣町例規集〕

### 3. 関連上位計画の概要

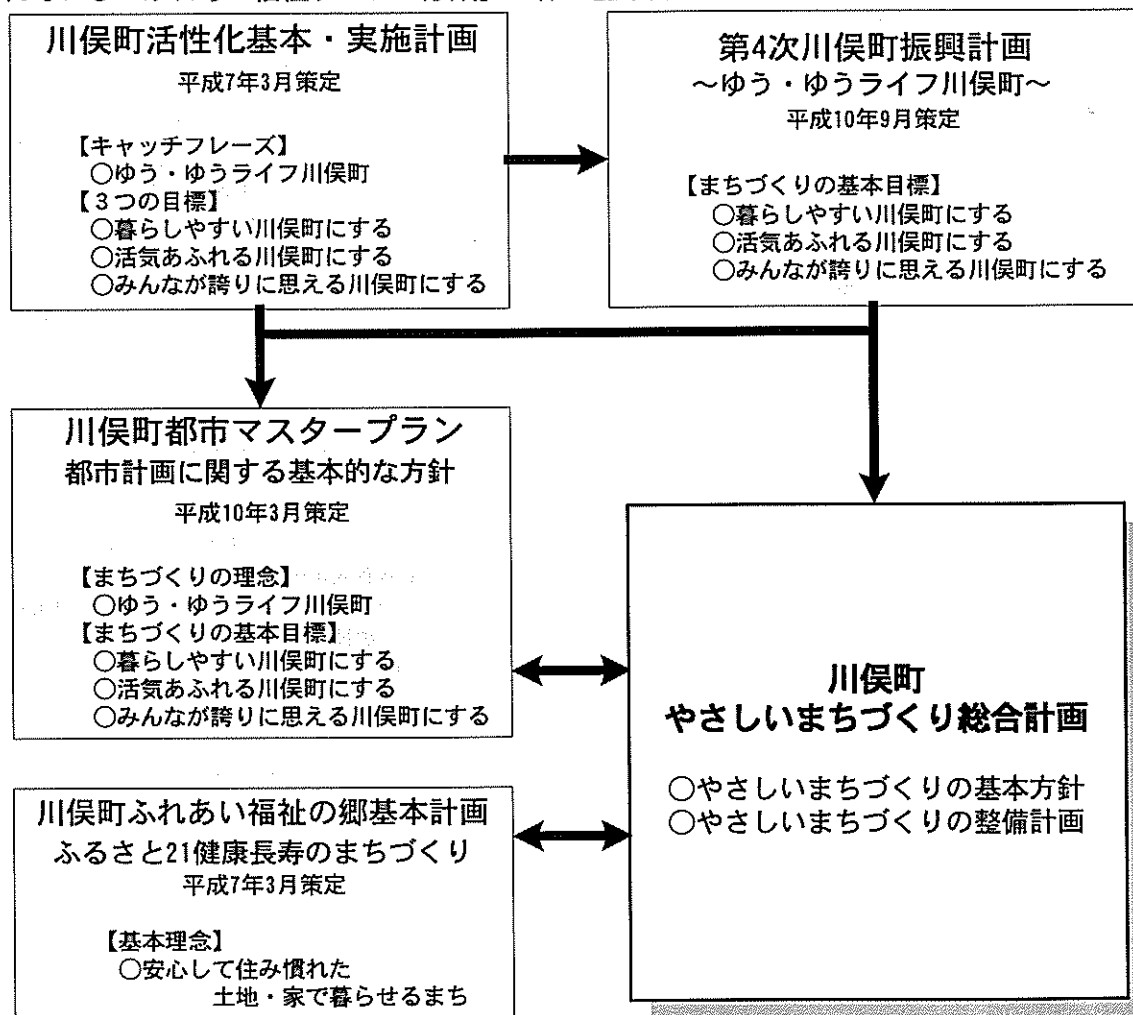
川俣町やさしいまちづくり総合計画は、平成10年9月に策定された「第4次川俣町振興計画」を上位計画とし、全ての人にやさしいまちづくりを恒久的に実施するための基本方針と具体的な整備計画を示すものとします。

上位計画である第4次川俣町振興計画では、重点施策として「ふれあい福祉ゾーン整備事業の推進」を掲げている他、バリアフリー化の推進、保健・福祉・医療の連携・充実を謳っています。

また同年3月に策定された「川俣町都市マスタープラン」も「第4次川俣町振興計画」同様に、町民参加により策定された「川俣町活性化基本・実施計画」の理念を引き継いだ計画となっています。この中で「ふれあい福祉ゾーンの整備」による拠点形成と身近な生活道路をモデル道路とし、公共施設及び周辺地域のバリアフリー化によるバリアフリーゾーンの形成を推進するとしています。

これら2つの計画の根幹ともなった「川俣町活性化基本・実施計画」では、高齢者にやさしい買物環境づくりや歩行者にやさしいまちづくり、高齢者も元気に暮らせるようなまちとしての方向性等が示されています。

平成7年3月に策定された「川俣町ふれあい福祉の郷基本計画」は、重点施策にも挙げられている「ふれあい福祉ゾーンの形成」に係る基本計画であり、現在その整備が進行中です。



(1)第4次川俣町振興計画 ～ゆう・ゆうライフ川俣町～

**まちづくりの基本理念**

「ゆう・ゆうライフ川俣町」

**まちづくりの基本目標**

- 暮らしやすい川俣町にする
- 活気あふれる川俣町にする
- みんなが誇りに思える川俣町にする

**施策の展開**

- 暮らしやすい川俣町にする
  - ・みんなでつくる住みやすいまち
  - ・誰もが安心して暮らせるまち
  - ・安らぎのある安全なまち
  
- 活気あふれる川俣町にする
  - ・個性あふれる学びのまち
  - ・交流で人のあふれるまち
  - ・魅力あふれる産業の町
  
- みんなが誇りに思える川俣町にする
  - ・青い空と緑と水が豊かなまち
  - ・歴史と伝統を大切にすまち
  - ・新たな文化を創造するまち

**重点施策**

- ①ふれあい福祉ゾーン整備事業の推進
- ②起業家支援による産業の振興
- ③中心市街地の再整備
- ④田園居住区整備事業の推進

**関連する主要施策**

- 交通の円滑化と安全性の確保等を目的に環状道路網の整備を進める
- 都市計画街路事業にあわせた中心市街地の再整備や遊休地を活用した小公園の整備、道路の拡幅等中心市街地の活性化に努める
- 高齢者向け、若者向けの公営住宅の新規建設を進める
- 町道やコミュニティ施設等の公共施設のバリアフリー化を積極的に推進
- ポケットパークの整備、みなし道路の整備、道路標識や地域案内板の設置を推進し、身近な生活環境の整備に努める
- 川俣町の保健・福祉・医療の拠点となるふれあい福祉ゾーンの整備推進
- 保健福祉係と高齢者福祉係の行政窓口を統一し、連携を強化する
- シルバー人材センターの活用と強化、各種援護制度の充実等により高齢者、障害者の社会参加を促進すると共に、ふれあいの場の整備、高齢者向け住宅整備、バリアフリー化を進め、暮らしやすいまちづくりを進める
- ふれあい福祉ゾーンの整備にあわせて、救急医療体制の整備確立を図る
- 町道等整備基準を策定し、安全性確保を図る
- 交通弱者への対応のため、町営のコミュニティバスを運行し、町民の利便性向上を図る

## (2)川俣町都市マスタープラン

### まちづくりの基本理念

### 「ゆう・ゆうライフ川俣町」

### まちづくりの基本目標

- 暮らしやすい川俣町にする
- 活気あふれる川俣町にする
- みんなが誇りに思える川俣町にする

### 施策の展開

- 暮らしやすい川俣町にする
  - ・みんなでつくる住みやすいまち
  - ・誰もが安心して暮らせるまち
  - ・安らぎのある安全なまち
- 活気あふれる川俣町にする
  - ・個性あふれる学びのまち
  - ・交流で人のあふれるまち
  - ・魅力あふれる産業の町
- みんなが誇りに思える川俣町にする
  - ・青い空と緑と水が豊かなまち
  - ・歴史と伝統を大切にすまち
  - ・新たな文化を創造するまち

### 3つの軸づくりの目標

#### ①交通軸

東西に走る国道114号線と南北に走る国道349号線は川俣町の発展を支え、周辺市町村との重要なアクセス道路として今後も重要な役割を担う交通軸として位置付けられる

#### ②緑と歴史の環境軸

歴史的文化財と周辺の山々の緑は次世代に残すべき貴重な資源であり、中心市街地を取り囲むこれら資源を緑と歴史の環境軸として整備する

#### ③生活軸

旧国道114号線と中心商店街は公共公益施設が集中し、都市構造的にも中心の軸となっている。歩行者に安全で町民生活に身近な機能が集積した生活軸として整備する

### 地域づくりのテーマ

- 川俣地域 『 水と歴史が流れるふれあいの地域 』
- 小神・鶴沢地域 『 商業と田園宅地の若々しい地域 』
- 飯坂地域 『 産業と良好な住宅のゆとりの地域 』
- 東福沢地域 『 緑とスポーツの健康的な地域 』

### 関連する主要施策

- 交通体系に関する方針では、歩行者・弱者にやさしい道路づくりを挙げ、バリアフリー化の推進や身近な生活道路における人にやさしい道路づくり、主要施設・公園・広場を結ぶ歩車共存道路の整備を図るとしている
- 都市施設・防災に関する方針では、暮らしやすい川俣町実現のため公共施設及び周辺地域におけるバリアフリー化を推進するとしている
- 医療・福祉・保健関連施設を“ふれあい福祉ゾーン”に集約し、役場庁舎、中央公民館との機能連携を図りながら拠点として整備する
- ふれあい福祉ゾーンの整備による拠点形成にあわせて、情報通信機能の充実を進め、生活・福祉に関する情報通信ネットワークを整備する

### (3) 川俣町ふれあい福祉の郷基本計画

#### まちづくりの基本理念

「安心して、住み慣れた土地・家で  
暮らせる町」

#### 整備計画

当整備計画は、事業見直し検討後の整備計画内容です。「ふれあい福祉の郷基本計画」とは規模等が異なります。

施設名称	事業主体	施設規模	設置 予定時期
特別養護老人ホーム (ショートステイ、デイ サービスセンターB 型、同E型を含む)	社会福祉法人 「信達福祉会」 (広域市町村圏 1市9町 ※)	鉄筋コンクリート造 一部2階建て 建築面積 3,624.61㎡ (内B型 446.91㎡) 定員 老人ホーム 60床 ショートステイ 20床 B型 15人/日以上 E型 8人/日以上	平成11年 ～12年
済生会川俣病院 (在宅介護支援センター を含む)	済生会支部 福島県済生会	鉄筋コンクリート造4階建て 建築面積 5,005.19㎡ 病床数 90床	平成10年 ～11年
保健センター	川俣町	鉄筋コンクリート造平屋建て 建築面積 961.61㎡ ハッシュソーラーシステム導入	平成9年度 設置済み

※広域市町村圏とは、福島市、伊達町、梁川町、桑折町、国見町、保原町、霊山町、月舘町、川俣町、飯野町の1市9町のことで

ふれあい福祉ゾーン位置図

